

## 令和2年度八戸市U-12部会審判活動について

八戸市ミニバスケットボール 審判部  
三浦健太郎

### 1 帯同審判について

- ① 円滑な大会運営のため、また、帯同審判のある・無しについての不公平感の解消のために、JBAに申請した帯同審判を各チーム1名以上登録お願いいたします。男女でチームがある場合は、男女それぞれに一人ずつの帯同審判員の登録をお願いいたします。
- ② 今年度、帯同審判員の登録がやむを得ずできない場合は協力金として1大会あたり5000円の支払いをお願いします。この協賛金は、審判謝礼、審判の弁当代、ドリンク代、八戸市ミニバス審判講習会の運営費や講師謝礼などにあてさせていただきます。支払いは抽選日にお願ひします。
- ③ 1チーム2人以上の帯同審判員を出していただいているチームには、大会で二人目の割り当てがある場合は協会扱いとし、審判謝礼を支払いたいと思います。
- ④ 帯同として登録しているチームの試合がない日に審判をした場合も、同様に協会扱いとします。
- ⑤ 当日、帯同審判員が仕事の都合などで出られない場合は、協力金を支払う必要はありません。
- ⑥ 帯同審判になられた方は、抽選日の日にエントリーシートをわたしますので、審判可能な日を書き、提出してください。

### 2 ライセンス取得された方の帯同審判の活動について

ライセンスを取得していても、エントリーしなかったり、経験が不足していたりして、公式戦で審判割り当てが一度もない方が増えてきています。そこで、以下のようになっています。

- ① U-12部会で審判の勉強会を開催します。数回企画しますので、年に一回以上は受けてください。
- ② 公式戦で審判をして、経験を積んでいただきたいと思います。
- ③ 今年度から来年度にかけて、帯同審判として登録されている方は①と②の条件をクリアしていただきます。

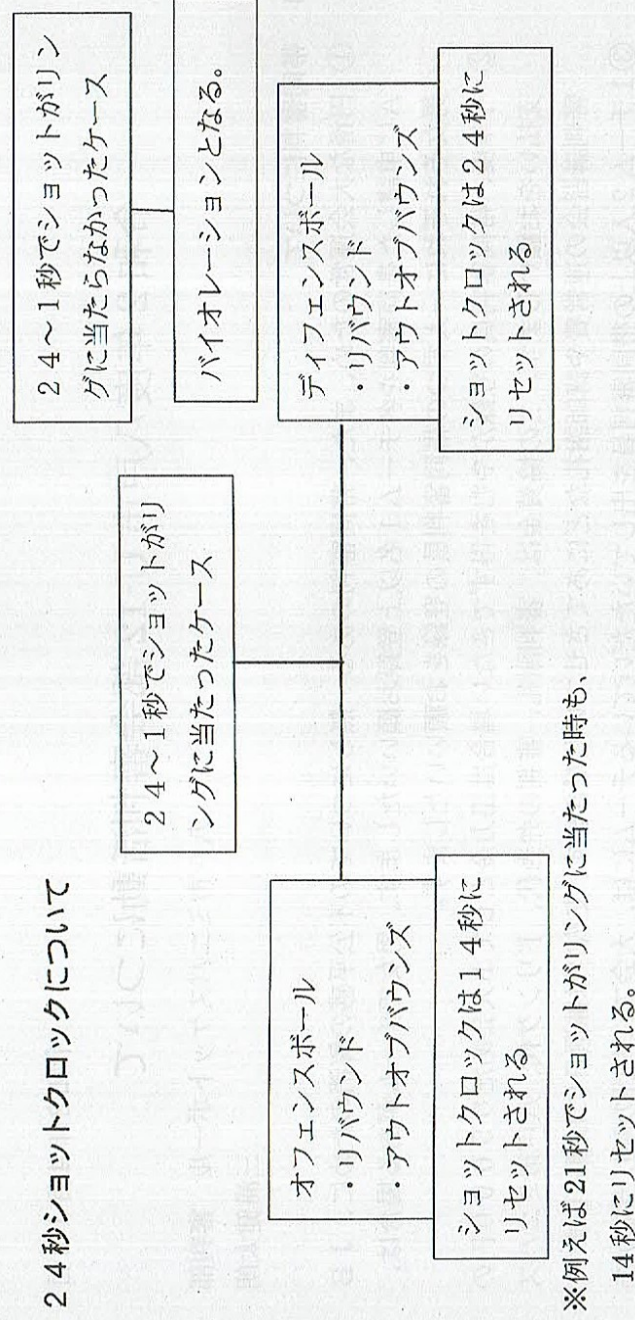
※条件に限らず、積極的に参加していただければと思います。よろしくお願ひいたします。

### 3 U-12カテゴリーにおけるルールの変更について（詳しくは、JBAのU-12のページを見てください） 2019年の主なルール変更につて

- |                      |
|----------------------|
| ① 24秒ショットクロックについて    |
| ② タイムアウトの回数について      |
| ③ 8人以上による試合成立と交代について |

- ① については、スピーディーな試合展開を目指し、ルールが改正されました。裏面に概略を記載しましたので、ご確認ください。
- ② タイムアウトは各1クォーターに1回ずつ45秒のタイムアウトをとることができるようになります。延長では、各延長時間に両チームに1回ずつのタイムアウトが認められます。
- ③ 登録された競技者が10人未満のチームに対して、8人による試合成立を認めることになりました。また、第4クォーターと延長時間では、プレイヤーを交代させることができました。

## 24秒ショットクロックについて



※トレールが確実に①リングにボールが当たったか②ショットクロックが14秒にリセットされたか、継続されたかを確認することです。

- ・ショットクロックが誤ってリセットされたり、またはリセットされなかったりした場合は、即座にショットが行われる場合を除いて、笛を吹いて訂正します。
- ・ディフェンス側がボールを明らかに保持できる場合は、ショットクロックのブザーが鳴っても、ゲームを止めません。速攻になることがあるので、レフリーはすぐに対応します。
- ・ヴァイオレーションが成立した場合は、シューターの最も近いアウトからスタートとなります。
- ・ショットクロックをはかり始めるのはコントロールしたところからです。例えば、ボールがリングに触れてリバウンドになり、どちらもとれずにルールズボールが続く場合、ショットクロックは止まったままになり、コントロールが始まったところからはかり始めます。ただし、スローインの時は、コート内のプレーヤーがボールに触れたときから、はかり始めます。
- ・リセットになるときは、フリースローが与えられるとき、シュートが入った時、相手チームがボールをコントロールした時、ファウルやヴァイオレーションがあったとき（ボールのコントロールが変わらない場合をのぞく）、そのほか、審判から指示（例えばディフェンス側プレーヤーのケガやオフィシャルトラブルなど）があった時。

※ここに記載したのはルールの一部です。確実に各チーム、JBA u-12ルールの変更に関する資料を確認してください。